

中国駐大阪総領事による不適切な発言を非難し謝罪を求める決議

去る 11 月 8 日に中国の薛劍駐大阪総領事が、高市首相の発言に対して「勝手に突っ込んできたその汚い首は一瞬の躊躇もなく斬ってやるしかない」などと X (旧 Twitter) へ投稿を行った。当発言は、在外公館の言論としては極めて不適切であり、両国の信頼関係に大きな溝を生む内容である。

泉佐野市は平成 29 年 3 月 23 日の国際都市宣言以降、国際交流事業を推進しており、中国では上海市徐匯区、上海市宝山区、成都市新都区、聊城市東阿県、威海市、重慶市武隆区と友好提携都市を締結している。また、関西国際空港の玄関都市としても多数の中国の方々が泉佐野市を訪れ、大阪・関西万博においても両国の文化理解を深めたところである。

そのような中で、駐大阪総領事の発言は国民の不安を煽るような印象を与え、これまでの友好関係を極めて棄損する行動であり決して看過できない。

よって本市議会は、当発言を非難すると共に、一日も早い公式の謝罪を求める。

以上、決議する。

令和 7 年 12 月 18 日

泉佐野市議会